

# 令和7年度版 情報連携の手引き

船橋市こども発達相談センター

## はじめに

船橋市こども発達相談センターは、個別相談ご利用のお子さんのより良い支援を目的に、これまで所属の保育園と必要に応じて保護者を通して情報連携を行ってきました。また、より確実に両施設の情報を共有するため、個々の工夫によりメモ書き等で情報連携を行う場合もありました。

今後は、このような情報連携がよりスムーズに行うことができるように、共通の書式（情報連携シート）を作成いたしました。必要に応じてご利用ください。

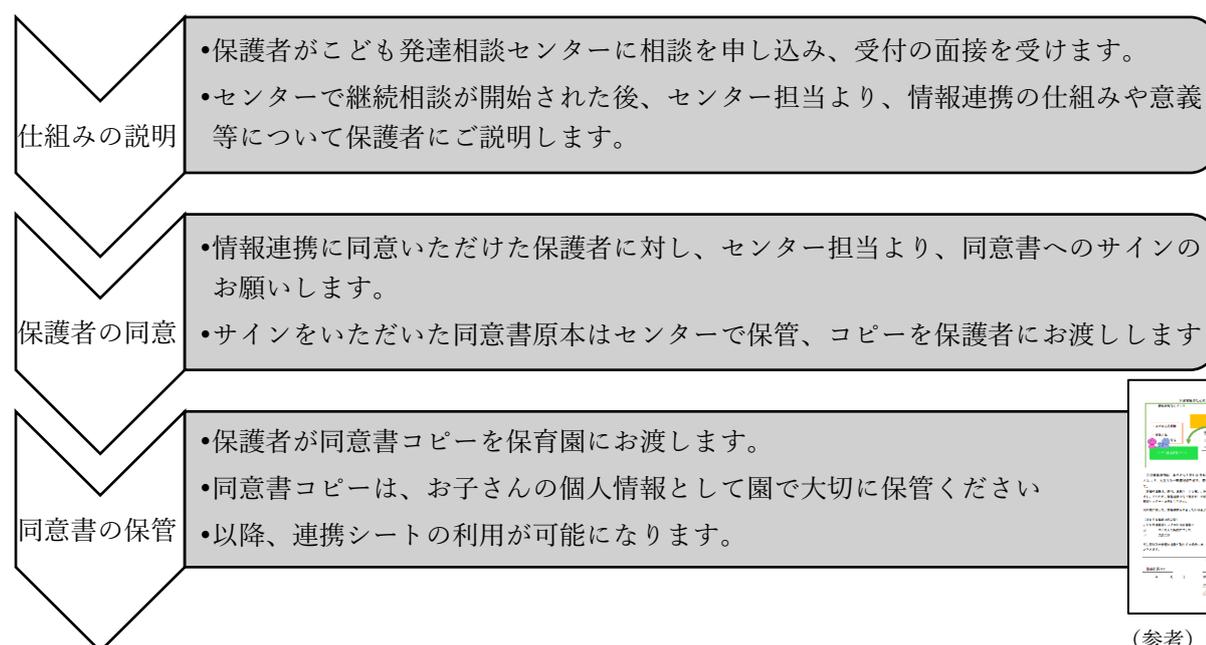
## ◆ 保護者と子どもを中心とした専門職の情報連携の考え方 ◆

子どもを支える専門家が多くいる中で、保育者は、子どもを最も多角的総合的に捉えて成長を支える専門家です。近年子どもの発達（特に障害）についてクローズアップされることが増えてきましたが、発達は子どもの一側面に過ぎず、また障害や特性があっても、それは子どもの一部分であり全てではありません。そのような意味で、総合的な子どもの専門家である保育者は、障害や特性だけにとらわれず、子ども自身やそれを取り巻く環境に直接アプローチできる重要な存在です。

この情報連携シートは、「総合的な子どもの専門家」である保育者と「子どもの発達の専門家」であるセンター相談員が、それぞれの専門性を活かし、お互いの持つ情報や見立てを共有することで、子どものより良い育ちを支えることを目的としています。また、保護者と子どもを常に真ん中にして、何よりも保護者と子どもにとってメリットがあるように、支援を積み上げていきます。

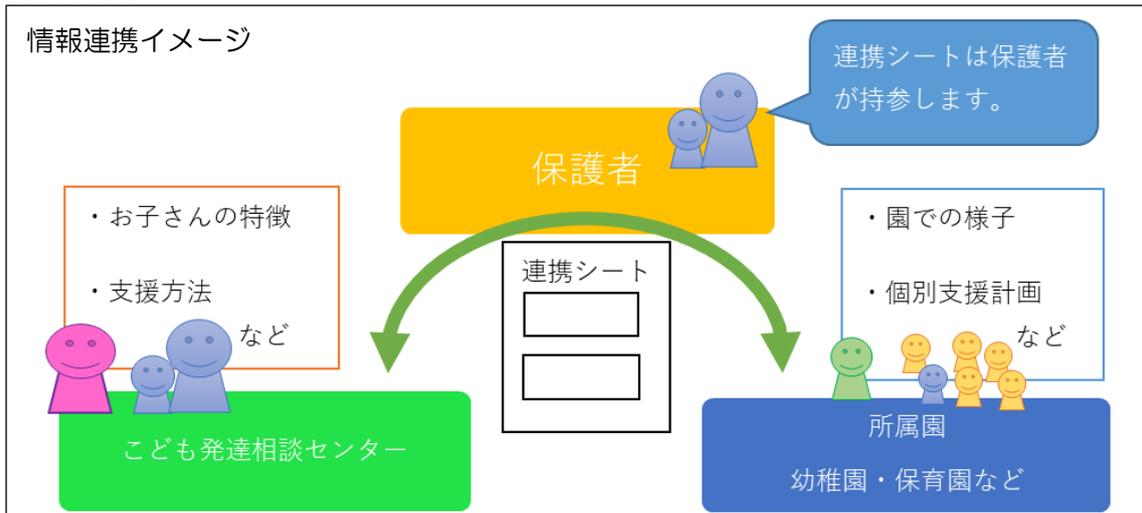
## ◆ 情報連携の流れ ◆

### 1. 保護者説明と同意（こども発達相談センターの継続相談内で実施）



(参考) 同意書

## 2. 連携の開始

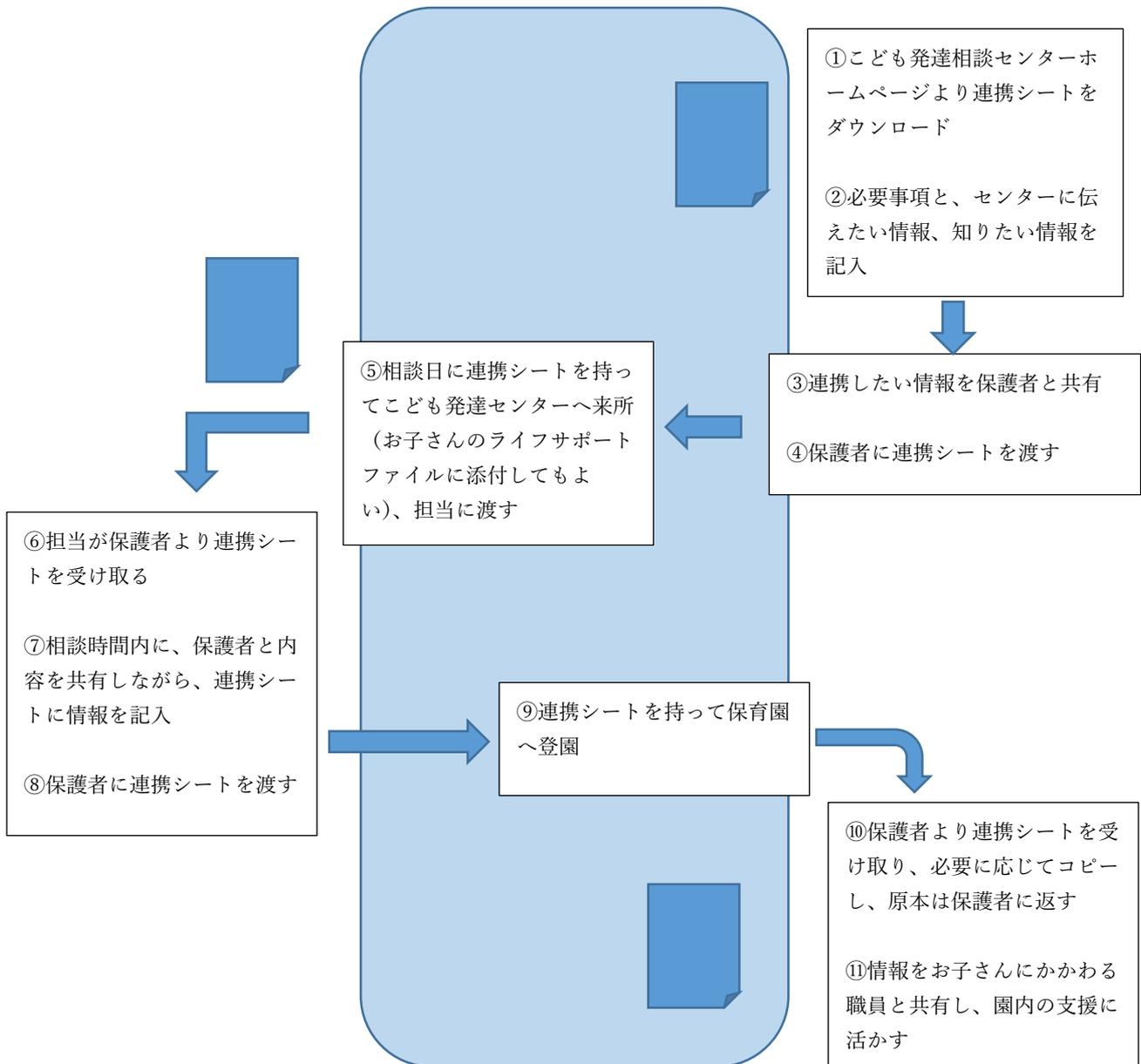


### 【連携の手順】（所属園から情報連携を始める場合）

こども発達相談センター

保護者

所属園



#### ◆ 情報連携の内容 ◆

**保育園**：園での様子 個別支援計画等（集団生活場面からわかること）

具体的には…

集団活動 身辺処理などの日常生活動作 先生や子ども同士のコミュニケーション  
制作等の課題への取り組み 行事 好きなこと 嫌いなこと 集団での支援方法 など

**センター**：こどもの特徴 支援方法等（個人の発達状況からわかること）

具体的には…

ことば 運動 認知 感覚 人との関わり方 個別での課題や遊びの様子 得意なこと  
苦手なこと 関わり方、環境調整のポイント など

※下記の情報が必要な場合は、連携シートではなく、保護者に直接ご確認ください

- ・外部機関（医療や民間療育など）の利用状況
- ・発達検査の結果
- ・家庭状況や保護者の気持ち、意向  
など、保護者が直接的に持っている情報

#### ◆ 情報連携のタイミング

原則、発達相談は概ね 2-3 ヶ月に一度の頻度で行われています。それに合わせて保育園は、保護者と話し合い、伝えたいこと、確認したいことを連携シートに記入し、保護者は発達相談の日に持参します。こども発達相談センター担当は発達相談の時間の中で、可能な範囲で記入し、保護者にお返しします。保護者はそれを園と共有します。

但し、ご相談に来所されても、支援内容や実施内容によって、保護者面接を十分に行えない場合があります。その場合には、次回の相談後にお返しいたします。

※こども発達相談センターでの来所のタイミング以外で、情報の連携がしたい場合の連携手順

電話での情報連携をすることができますが、3者間での共有が難しくなるため、以下の手順にて連携を行ってください。

- ① 保育園が、連携シートに質問する内容を記載し、保護者と共有する
- ② 保護者からこども発達相談センターに、こども発達相談センター担当から保育園に連携の電話をしてほしいことを伝える
- ③ こども発達相談センター担当者から都合のつく時に、保育園に電話をする
- ④ 保育園は連携シートに基づき電話で質問をし、電話で得た回答を連携シートに記載する
- ⑤ 保育園は情報が揃った連携シートの写しを保護者に渡し、保護者がこども発達相談センターに来所するタイミングで持参する

◆ 情報連携後の目指すべきところ

**保育園**：集団の中でできる範囲でその子が過ごしやすくする工夫（合理的配慮）

情報連携でわかった子どもの状態を参考に、園の環境やカリキュラム、保育方針に合わせて、保育の専門知識や技術を活かした関わりを園の職員間でご検討ください。

※療育をご利用のお子さんに関しては、保育所等訪問事業のご利用もご検討ください。

**センター**：より総合的なお子さんの発達の見立てを元にした支援

情報連携でわかったお子さんの集団での状態を参考に、お子さんの発達状況をより総合的に捉え、次の集団である学校を見据えた発達相談を保護者と進めていきます。

◆ 連携シート活用のポイント

対象となるお子さんが、園や家庭で過ごしやすくなるための支援方法を考えていくために、活用するものです。支援方法を検討するために必要な情報を共有してください。

① 園での様子を記載する場合には…

【行動の前後の活動の状況】や、【起こってしまった行動に対する園での対応方法】なども記載していただくと、より詳しく状況を把握することができます

② 発達相談では、保護者面接や、お子さんへの支援を行っています。そのため、たくさんの質問にお答えすることが困難です。一番聞きたいことを中心にお書きください。

③ 保護者が連携シートを見ることを前提に、文章をお書きください。